

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五・六 (公衆)〇四七二二七二〇七

労働「本部」革マルを

一刻も早く打倒することが必要

(司 会)

最後に労働千葉の分離独立の理念はもう一つ、労働「本部」革マルを追放一掃し、労働大改革をかちとることですが、四年後の今日の労働「本部」革マルの姿と、労働千葉の進むべき道について述べて下さい。

(Wさん・千葉転支部・電運士)

入浴闘争のように、他の組合が闘っている所へ押しかけ妨害し、「冬の時代」だからと要員や労働条件は全部いらぬでは労働組合ではありませんよ。こんなもんと一緒にやるつもりは毛頭ありませんね。労働千葉のいいところは困った時に助け合うということですよ。

(Xさん・千葉転支部・電運士)

組合員も国労の組合員も労働は様変わりしたといっているよね。権力、当局の庇護のもとで、セクト的に生きのびることを路線化してる。それでいいんだといつてはだめだし、国鉄内で力をもつて当局と慣れあつて権利を奪うわけだから、一刻も早く打倒していくことが必要だと思うよね。

(Vさん・幕張支部・車修係)

検修職場に労働革マル二〇名が入ってくるという話もあるし、新たな労働「本部」との段階に入ると思いますがね。今回「我々の組織的課題」を中央委で提起し、「革マルになれ」といつてるわけです。労働組合の名をかたり、労働者の仮面をかぶつた労働革マルとの闘いなしに国鉄労働運動の未来はないと思います。革マルが来るということだと、われわれがピリッとするのはいいことだと思います。

常に攻撃的精神で見すえよう

(Uさん・幕張支部・構運係)

入浴闘争を「挑発だからつぶせ」とか、革マルは批判されることを百も承知でやっている。しかし、今の路線が生き残れると思つてやっているんです。それが「働こう運動」から始まった路線であり、情勢が厳しくなつて誰も闘えなくなると労働批判ができなくなる。そして全部がガタついた時に温存した力で再度浮上しようとしているんですね。われわれの回答は、彼等を打倒していくことです。攻撃的精神で常に見ていなければだめですよ。

(Rさん・津田沼支部・電運士)

千葉に何人送りこんで来ようが、職場の体制ができていれやられないと思つていますね。労働「本

部」を追放、一掃する体制をどうつくっていくかだと思います。海宝、野口、嶋田は、掲示一つ書くわけでもなく、何もやっていないですよ。三里塚・国鉄を基軸に闘う路線をもつていれれば何人来ても必ず勝利できると思つています。

(Qさん・津田沼支部・電運士)

労働革マルがやっていることは、当局がやりたいことを先取りしてやっている。自分達だけ生きのびればかまわないということだよね。われわれはどう闘っていくのかけど、批判だけではだめで、理論学習で革マルの本質を学習しておさえておかないと、表面だけの反論で終わってしまうと思う。今までの闘いの延長線上にはいけないから、もう一歩つっこんだ学習をする必要があると思つよね。

「三里塚・国鉄」を闘う国鉄労働運動を生み出そう!

(司 会)

当局は、国労鹿兒島への不当処分をはじめ、この一年間に六万名の大量処分を行つてきています。それは、上野駅「三〇〇円問題」や、西船橋の「缶ビール事件」のように処分がエスカレートしています。また「職場規律」の攻撃の中で、ワッペン闘争がストライキに匹敵する状況となつてきており、その中で今後どう闘うかが問われています。この時に、もう一度、分離独立と81・3ジェット闘争をおもいおこし、敵の中核を見すえて闘う必要があると思つています。それが三里塚・国鉄を基軸に闘う労働運動であり、三里塚二期阻止の闘い、さらには59・2ダイ改、動乗改悪阻止の闘いに全国鉄労働者の決起をかちとることです。そのため、全国鉄労働者の決起をかちとることを確認して、本日の座談会を終りたいと思つています。今日はどうもありがとうございました。

(了)

横浜速報 生活 全国鉄 東に決起 二二二二 労働者 闘争 破壊 組織 国労の労働者が決起! (1)変質した労働を弾劾する国労。三里塚・国鉄決戦へ!(2)国労共闘、三里塚を共に闘う。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

臨調・行革粉碎! 三里塚ジェット闘争勝利!

「三里塚・反合」闘争路線の全国的拡大をかちとろう

労働「本部」革マルを一掃し、労働大改革へ

座談会